

女木島地域おこし協力隊

作成日：2020.1/31

作成者：藤村佳朋

藤村佳朋 1年間の活動報告



地域行事の手伝い



女木の里ペイント



観光農園の整備



着ぐるみイベント

それぞれの活動の概要

女木島内の様々な行事に参加し、積極的に協力する。

「女木の里」周辺のブロック塀にペイントを施す。描く過程も見せ、観光客に島のPRを行う。

かつて段々畑だった場所をお借りし、移住者や観光客が農業体験ができる観光農園をつくる。

冬の女木島にて個人の着ぐるみ愛好家を集め宿泊イベントを開催。共同農園と連携し、島のPRを行う。

目的

島内の人手不足の解消。女木島の暮らしを外部に発信。

女木の里の認知度アップ・景観美化・観光客に島の名物・名所を知ってもらう。

農園を観光客や移住希望者むけに解放し地域の資源にしたい。畑の減少を食い止め、島の景観を維持する。

冬に島で稼げるイベントをつくる。閑散期の人の少なさを有効活用し島の魅力を発信する。

実際の活動・成果・現状など

2月、文化祭、テルサマルシェ
5月、鬼太鼓座
8月、女木大祭り
10月、さくら猫一斉去勢手術、町民運動会
11月、鬼ヶ島探検ウォーキング、島フェスタ、コミュニティマルシェ

えがおに市についてはFacebookでの宣伝を担当、またブログにて活動を発信中。

2月、文化祭にてペイントラフ案を展示。汚れたブロック塀の清掃・下地塗り。
7月、えがおに市の看板制作。
8月、西壁ペイントの完成。クリアファイル・マグカップ・缶バッジ等のグッズを制作し島内外で販売・配布。
12月、南壁ペイント地函部分の完成。新聞・テレビ・ネット等の媒体で取り上げて頂きました。

荒地の草刈り、石垣補修、耕運、イノシシ除けの柵設置が一通り完了し畑の姿になりました。
12月14日に島外の方向けの収穫体験を実施。同日、収穫した野菜で鍋を囲み交流会を実施。現在の作付作物はニンニク、まんば、絹さや、キャベツ等。

12月14日～15日の二日間着ぐるみイベント「第0回獣ヶ島(けもがしま)」を島内にて開催。西は沖縄、東は埼玉より5名が参加。10,315円の利益が発生したため「さくら猫」のエサ代として全額自治会へ寄付。島全体への経済効果は二日間で約50,000円。

今後の展望

今後も積極的に地域行事に関わる。

今年度中に北壁の完成。来年4月にドイツより美術系のインターン生を受け入れ予定。一緒に南壁の仕上げ作業を行う。

より農業技術に磨きをかけ、収穫体験イベント等を開催。「えがおに市」にも野菜を出品し収益化を目指したい。

島内のほかの行事と同日開催し、島民や観光客も楽しめるイベントに育てたい。参加人数を増やし、より島の経済に貢献したい。